

共同参画だより 令和8年7月 NO.119



令和8年5月号より共同参画だよりの名称が変わりました♪

ゴリラが家族や仲間を大切に支え合って暮らすように、「GORILLA」には、性別に関わらず誰もが対等に関わり支え合いながら生きる社会と、それぞれの強さとやさしさを大切にする社会への願いを込めています。

今月のトピックス

- ▶ 令和8年度の「男女共同参画白書」が公表されました
- ▶ 男女共同参画セミナー
“親子でチャレンジ！絵手紙づくり”を開催します



▶ 令和8年度の「男女共同参画白書」が公表されました

「男女共同参画白書」は男女共同参画基本法に基づき作成されている年次報告書で、内閣府から毎年刊行されています。

今回の白書は、「**仕事や職業キャリアに関する女性の学び直し・暮らしを充実させる男性の学び直し～学び直しの現状と分析～**」を特集テーマとしています。

社会のデジタル化が進む中、年齢が高くなるほど**女性はデジタル化の進展に適応できないと感じる割合が高く、職業訓練や自己啓発に取り組む割合も20代後半以降は男性より低い傾向にあります**。一方で、**男性は女性に比べて孤独や社会的孤立に陥りやすい傾向がある**ことも明らかになっています。

今後も長寿化やテクノロジーの進展により社会の変化は続くため、**多様な学び直しに取り組むことが求められます**。学び直しは、女性のキャリア形成や男性の暮らしの充実を支えるだけでなく、個人の成長や地域・社会課題の解決、さらには我が国の経済成長にもつながります。

しかし、内閣府の意識調査では、学び直しへの**意欲があっても、経済的事情や時間的制約、情報不足などの理由から**行動に移せない人が多く、**その障壁には男女差もみられました**。そのため、行政をはじめとした関係機関が学習機会の充実や情報提供、経済的支援などの環境整備を進めることが重要です。



第1節 人生100年時代における生活や社会構造の変化

- 平均寿命・健康寿命が延伸するとともに、女性・高齢者の就業率の向上を含め働き方や社会構造に大きな変化がみられる。
- いわゆる「L字カーブ」を始めとする男女間の格差は依然として存在している。他方、男性は女性に比べて、孤独や社会的孤立に陥りやすい傾向がある。
- AIなどテクノロジーが急速に発展しその利用が拡大する一方で、各種のデジタルデバイドが存在し、その発展に不安を感じる人も相当みられる。
- 職業訓練や自己啓発をした者の割合は、女性の方が低く、職業上必要とされるスキルの習得における男女差につながっていると推測される。
- 産業構造の面では、AIなどのテクノロジーの進展により、様々な産業においてAI・ロボット等利活用人材を含む専門職や現場人材が不足する可能性が指摘されている。



第2節 人生を豊かにする学び直しへの意欲と障壁

- 学び直しの一般的な意義・必要性は、相当な割合の人々が認めている。女性の方が認める人が多く、特に中高年の女性で割合が高い。
- 男女ともに、1年以内に学んでいる者は、そうでない者に比べ、現在の普段の暮らしの中で自分の役割や居場所が「あると思う」とする者の割合が顕著に高い。
- 学び直しの意欲があっても、実際に学び直しを行っている者は多いとはいえない。仕事や職業キャリアに関する学び直しでは、意欲がある人のうち女性の約7割、男性の約6割が過去1年以内に学んでいないと答えた。また、暮らしを充実させる学び直しでも、意欲がある人の半数以上が過去1年以内に学んでいないと答えた。
- 学び直しへの障壁としては、男女ともに「金銭的な余裕がない」、「時間的な余裕がない」、「何を学んでいいかわからない」といった回答が多い。
- 女性は男性に比べ「金銭的な余裕がない」、「家事等が忙しくて時間がない」といった回答が、男性は女性に比べ「仕事が忙しくて時間がない」、「学んでも会社から評価されない」といった回答が多い。

第3節 多様な豊かさを実現できる社会の形成に向けた学び直しの促進

- 学び直しに意欲を持つ者が直面する経済的事情、時間的制約、情報の不足や不安、キャリアへの影響・職場からの評価といった障壁の解消が求められる。
- その実現に当たっては、経済的事情にも配慮した教材やプログラムの提供、就業環境の改善を通じた学び直しに充てられる時間の確保、具体的な学び直しのテーマや機会の積極的な提示など、行政等による環境整備の役割も重要と考えられる。
- 男女共同参画社会の形成の観点からは、地域における連携・協働の拠点である男女共同参画センターが、学び直しへの障壁に関する男女の傾向の差を踏まえ、地域の実情に応じた課題の解決に資する多様な学び直しの機会を提供することの意義は大きい。国としても、ガイドラインの周知、地方女性活躍推進交付金、独立行政法人男女共同参画機構の取組等により支援する必要がある。
- 「人生を豊かにする学び直し」は、個人の成長のみならず、地域・社会課題の解決、我が国の経済成長などを通じて、女性も男性も暮らしやすい多様な幸せ（well-being）の実現する社会の形成につながる。

参考資料：令和8年版男女共同参画白書

▶ 男女共同参画セミナー“親子でチャレンジ！絵手紙づくり”を開催します

夏野菜を題材に、親子で楽しく絵手紙を作ります。消しゴムではんこ作りにも挑戦し、オリジナルの絵手紙を完成させます。夏休みの思い出づくりに、ぜひご参加ください！

- ✿日時：令和8年8月9日(日) 9:30～12:00
- ✿会場：大生公民館（常総市平町441）
- ✿定員：15組
- ✿対象者：市内在住の親子（年齢制限はありません）
- ✿参加費：1組300円
- ✿持ち物：絵の具セット、2B以上の濃い鉛筆、ネームペン
- ✿講師：関 敏夫氏
- ✿申込み：**7月24日（金）までに**、人権推進課へ電話または、
いばらき電子申請・届出サービスからお申し込みください。



主催：女性団体じょうそう事業委員会 協力：常総市人権推進課

いばらき電子申請・届出サービス